

## ＊＊ 気をつけよう！夏の感染症 ＊＊

プール遊びがはじまり、本格的な夏の季節が到来しました。そんな中、体調不良の子も多くなっています。園内でも溶連菌、アデノウイルスなどの感染症が出ていますがこれから更に様々な感染症が流行しやすくなります。子供たちの体調に十分注意してください。

**溶連菌感染症** 発熱、のどの痛み、嘔吐、全身に小さな発疹が出たりいちご舌の症状が出ることも。  
＜登園の目安＞抗菌薬を飲み始めて24時間以上、解熱後24時間以上経過していること

**手足口病** 手のひらや足の裏、口の中に小さな水疱や発疹ができ、熱が出ることも。  
まれに髄膜炎などの合併症を引き起こすことがある。  
＜登園の目安＞発熱や口腔内の水疱による影響がなく、普段通りの食事がとれること。

**咽頭結膜熱(プール熱)** アデノウイルスの感染により、高熱、のどの痛み、結膜炎のような症状がでる。  
＜登園の目安＞発熱等の症状が消失した後2日が経過していること

**ヘルパンギーナ** コクサッキーウイルスなどの感染により、高熱、のどの痛みの症状が出る。のどに水疱や潰瘍ができる。のどの痛みは熱が下がっても続くことがある。  
＜登園の目安＞発熱や口腔内の水疱・潰瘍による影響がなく、普段通りの食事がとれること。

**とびひ** 虫刺されや湿疹や傷などをかきむしったあとに、黄色ブドウ球菌が感染しておこる。  
皮膚に水疱ができ、破れて赤くむけたようになり、どんどん広がっていく。発熱することも。  
広がる前に早めに治療を始めることが大切です。  
＜登園の目安＞患部を外用薬で処置し、ガーゼでしっかり覆うこと。頭や顔、広範囲で覆えない場合は登園停止。感染力が強いため、プールは治癒するまで入れません。

### 尿検査、歯科検診の結果について

検査の結果は異常があった子にのみお渡ししました。できるだけ早く、受診をお願いします。

#### むし歯のあった子の人数

年長・・・4人 年中・・・7人 年少・・・1人 未満児・・・0人



「歯のきれいな子が多いね」と歯医者さんに褒めていただきました。うれしいですね。  
この調子で子供たちの虫歯のないきれいな歯を保ってあげましょう。

おやつのだらだら食べは、歯の再石灰化を阻害し、虫歯になりやすい歯になってしまいます。  
おやつは時間を決めてあげるようにしましょう。  
また、夜寝る前のはみがきは、必ず大人が仕上げ磨きをしてあげましょう。